

子供を乗せた自転車の転倒や子供の転落に注意！

東京都では、日常生活に埋もれている「ヒヤリとしたり、ハッとした体験」について調査しており、乳幼児に関する調査では、子供を乗せた自転車でのヒヤリ・ハット体験が度々寄せられています。なかでも、転倒や転落の事例が多くみられます。子供を乗せることで重くなり、不安定になるので、注意して使用しましょう。



事故、ヒヤリ・ハット事例

- 自販機でジュースを買おうとして、自転車を道に止めて少し離れたところ、乗っていた子供が動いてバランスを崩し、自転車とともに倒れた。(3歳・男児)
- 先に自転車の幼児座席に息子を乗せ、上の子の面倒を見ている間に、自転車が風に煽られて倒れた。(3歳・男児)
- 子供を乗せたまま、自転車から荷物を上げ下げしているときに、自転車が横転した。(3歳・女児)
- 自転車の幼児座席で子供が寝てしまい、ベルトが肩から抜けて子供が落ちそうになった。(4歳・男児)

事故を防ぐポイント

- 短時間であっても、子供を乗せたまま自転車から離れないようにしましょう。
- 子供は荷物等よりも後に乗せ、最初に降ろすようにしましょう。また、子供の乗せ降ろしの際は、ハンドルを真っ直ぐにした状態で平坦な場所に駐輪し、スタンドをロックしましょう。
- 運転中に子供が寝てしまい、姿勢が傾いてシートベルトが緩んだり、周囲のものなどにぶつかってしまう事例もみられます。注意しましょう。
- 乗車前に子供にヘルメットを着用させ、シートベルトは緩みのないように装着させましょう。万一転倒してしまった際に、ヘルメットは頭部への衝撃を緩和するのに有効です。
- 子供を乗せたときは、ハンドル操作や安定性などが一人で乗るときとは異なるため、安全の確保できる場所で十分練習しましょう。

◎参考

- ① 《「年齢の異なる子供のいる家庭での乳幼児の危険」～ヒヤリ・ハット調査を実施しました～》東京暮らしWEB (令和2年3月31日)
https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/hiyarihat/infant_nenreinokotonarukodomo.html
- ② 《「乳幼児の寝ているときの事故防止ガイド」を作成！～家の中でも外出先でも危険がいっぱい！～》東京暮らしWEB (平成30年10月25日)
https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/hiyarihat/infant_neteirutoki.html
- ③ 《ヒヤリ・ハット調査「乳幼児が使う製品による危険」「乳幼児を育てるために使う製品による危険」》東京暮らしWEB (平成27年10月29日)
https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/hiyarihat/infant_product151029.html
- ④ 《ヒヤリ・ハット調査「乳幼児の転落・転倒による危険」》東京暮らしWEB (平成26年10月20日)
https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/hiyarihat/infant_fall-141020.html

その他の危害危険情報はこちら。

東京暮らしWEB

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/kigai.html>



問合せ先

東京都生活文化局消費生活部生活安全課

電話 03-5388-3082